



今年も駅に屋台がやって来た(8/8)

おらが湊鐵道応援団報

第101号

勝田 | 阿字ヶ浦

大量輸送はやっぱり鉄道



那珂湊駅西側から見た那珂湊の打ち上げ花火



お手伝いに来たよ!

夏休みを利用して、かわいい幼稚園児や小学生たちが応援団を訪れ、ボランティア体験をしました。今年は8月中の5日間でのべ17人が、駅待合室の清掃や駅前花壇の整備、改札口での切符の受け渡し、まちなかMAPの配布などを駅職員と応援団員に教えられながら行いました。

■8/29日(土)「ローカル鉄道サミット」にご参加ください。

8月29日午後2時から4時まで、しあわせプラザホールで第2回ローカル鉄道サミットが開かれます。サミットでは、本間市長と吉田社長のほか、鳥取県・若桜鉄道の山田和明社長、京都丹後鉄道の小高直弘常務らが登壇し、海浜鉄道の延伸計画や各鉄道の事例などを紹介します。入場はひたちなか市民は無料です。ぜひご参加ください。

■30日までwinwinで応援団写真展

8月30日まで勝田駅東口winwinビル1階の市民ギャラリーで、応援団写真展と志田政敏さんの湊線絵画展を開催しています。ぜひご覧ください(25日は休館)。



短い鉄道路線の沿線ではひと夏に3回も花火大会が開催されること自体が珍しいことだと思いますが、湊線が今夏も花火大会の乗客輸送で威力を発揮しました。

初めての日曜日開催になった7月26日の阿字ヶ浦海岸花火大会では「これまでの倍くらいの人出」と主催者側が驚くほど阿字ヶ浦駅も混雑しました。

8月11日の那珂湊海上花火大会は3輦の増結運行と増発便で対応、大会終了直後の那珂湊駅ホームは写真のように約300人の乗客でホームが溢れましたが、積み残しもなくスムーズに運ぶことができました。花火輸送だけでこの日は約80万円の増収になったそうです。応援団では湊線利用者の会場優先席への案内と、水ヨーヨーの配布をしました。

22日のひたちなか祭り花火大会は、定期便の3輦運行と勝田-那珂湊間で4往復の増発便でピストン輸送。会場周辺道路は通行止のため威力を発揮しました。

MMM2015 30日(日)まで

那珂湊駅構内や商店街の空き店舗を会場にした現代アートプロジェクト「みなとメディアミュージアム」(MMM)が、8月30日まで開催されています。

参加22組のアーティストの一人で版画家の田中彰さんは、那珂湊駅ホームに移築されたふるさと懐古館で使われていたケヤキの柱に、那珂湊の街を取材した版画作品を電気ゴテで彫り込む作業を今も続け、ふだんは見過ごしてしまっているまちなかの魅力を伝えてくれています。写真は、作品鑑賞は10時から18時まで。どの会場も入場無料です。詳しい小冊子は那珂湊駅などでスタッフが配布しています。

■8/29日(土)に「湊公園サマーパーティー」

那珂湊地区の若い店主らでつくる「みなとみらいプロジェクト実行委員会」では、8月29日午後4時から8時(プレオープン正午)まで、湊公園で「食と音楽の賑わいのLIVE」湊公園サマーパーティーを開催します。公園では音楽ステージや特設飲食ブース、MMMのワークショップ、子ども向けのイベントなどのほか、貴賓閣復元研究会による展示や映像イベントなどがあります。



リレー 随想 部活の「水産クラブ」で “町づくり”を学んでいます 海洋高校2年 岡田 翔さん

私は、ひたちなか市に17年間住んでいます。そんな私のひたちなか自慢は、何と言っても「湊線」です。私が生まれる前からある鉄道です。昨年で100周年の節目を迎えた湊線は、本当に自慢できる地域の宝です。

私が3、4歳の頃、線路脇の道を歩くと踏切が鳴り出し、列車が通過。私は必ず運転士さんに手を振っていました。なんとなく列車と友達になれたような気になりました。それが習慣になり、今でも列車を見かけると手を挙げて挨拶します。社名や列車の色が変わったり、変化を遂げる湊線。そんな湊線に負けないよう、私も成長してきたのかもしれない。とても身近な、地域の鉄道です。

現在私は、那珂湊にある海洋高校に通い、水産クラブという部活に所属しています。そこで「町づくり」の活動をしています。地域の方との交流を通して湊線の大切さを改めて感じました。応援団が存在し、団員の方が鉄道を支える活動をしている。そして、鉄道会社が地域の方と三位一体となり鉄道を運行している。湊線には沢山の人の愛情が詰まっていることに気づきました。

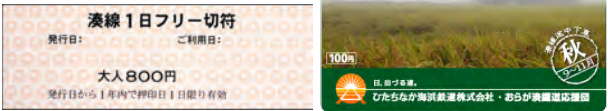
私は自然に応援団に入ることを申し込んでいました。ただ手を振るだけでなく、湊線に注ぐ愛を形にしていこうと決めました。一緒に成長してきた湊線。これからも、水産クラブ、応援団、一人のファンとして、たくさんの愛情を注ぎ、さらに共に成長していきたいと思っています。

■外国籍の方を対象に「街並みめぐりハイキング」

那珂湊の明治から昭和初期の建物と水戸藩ゆかりの史跡の案内を続けている「まちかど博物館」では、海浜鉄道と共催で9月13日(日)午後2時から、第37回「街並みめぐりハイキング」を開催します。今回は初めて市内周辺に暮らす外国籍の方が対象。案内は日本語なので、ある程度日本語がわかる人を募集します。2時間程度で湊公園や四郎介稲荷、古い民家などをまわります。参加費は100円。申し込み・問い合わせは那珂湊駅(029-262-2361)へ。

秋バージョン 応援券&硬券フリー切符を販売

9月1日(火)から11月末日まで湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の秋バージョンを1,000円で那珂湊駅窓口で販売します。フリー切符は横長の「D型硬券」で、応援券には稲刈り直前の霧の中を走る湊線が描かれています。フリー切符は発行日より1年以内の利用が可能です。四季毎に発行される応援券4種類を揃え、那珂湊駅窓口で呈示された方にはプレゼントを差し上げています。売上げの一部は応援団の活動費に充てられます。



新ポストカードを販売します

駅猫セットなど 5枚組...350円
絵手紙セット 12枚組...800円

応援団オリジナルの新しいポストカード32種類の販売を8月から販売を始めました。3版目になる今回のポストカードは、湊線の旧型車を中心とした写真に加えて、人気の駅猫・おさむ、ミニさむの5枚組セットと、湊線絵手紙応援隊のご協力による湊線10駅の駅名標をスケッチした絵手紙のセットなどを用意しました。価格は5枚組セット4種類が各350円、絵手紙セット12枚組が800円です。残り少なくなった旧作も、引き続き500円(8・9枚組)で販売します。お求めは土日に応援団員が那珂湊駅にいる時は応援団ブースで、平日は那珂湊駅窓口でお願いします。売り上げは応援団の活動費に充てられます。ぜひお買い上げください。



各駅の清掃・環境整備 いつもありがとうございます

駅名	9月6日(日)	10月4日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	湊中央 湊本町 商店街	釈迦町 幸町 湊泉町
殿山	和田町・殿山町	七丁目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

各駅清掃は第1日曜日、朝8:30~8:50。中根駅は朝7:30~実施しています。

好評です 野菜と干物の朝市 毎月第一日曜日に開催

■日時 9月6日(日) 午前9時~11時頃まで
■那珂湊駅1番線ホーム ※ホームへの入場は無料です。

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」4,270名を達成しました!

- 【海浜鉄道関係】
 - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
- 【応援団関係】
 - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
 - ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

応援団報100号記念 読者プレゼント!

facebook、応援団HPをご覧ください

- 【ひたちなか海浜鉄道賞】
アクアワールド大洗入場券(おとな)+
応援券&硬券一日フリー切符各1枚×10本
- 【おらが湊鐵道応援団賞】
新ポストカード32枚組フルセット×10本
- 【応援団写真部賞】
湊線ベストショットパネルプリント1点×5本
- 【特別賞】
ひたちなか産さつま芋(べにあずま・5kg)×3本
※④は市外から応募の方に限ります。
- 【100号記念賞】
海浜鉄道特製クリアファイル1枚×20本

■応募方法 ハガキに①~④の希望賞品名と住所・氏名・連絡先電話番号またはメールアドレスを記入の上、下記宛先まで応募ください。⑤の「100号記念賞」は応募者全員から抽選いたします。
■応募宛先 〒311-1222 ひたちなか市海門町2-8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内 応援団読者プレゼント係
■応募締切 平成27年8月31日 当日消印有効
■抽選・賞品発送 応募締切後、厳正な抽選の上、9月下旬発送いたします。③と⑤については通知しますので、那珂湊駅窓口で賞品の交換をお願いします。